



SICKLEBILL SAFARIS

ニューギニア入門ツアー2：カワセミ・インコとニューギニアの鳥

ニューギニアバードウォッチングの入門編として、一週間の比較的短いツアーをご用意いたしました。ニューギニアの探鳥地の中でも特に鳥の種類が豊富な事で名高い西部熱帯雨林のフライリバー、キウंगा周辺とスター山脈の麓のタブビル周辺を訪れます。ツアーではもちろん出来る限り多くの野鳥を探していきますが、特にインコとカワセミ、極楽鳥の仲間に力を入れた行程となっています。極楽鳥の仲間に重点をあてたツアー1『**ニューギニア入門ツアー1：極楽鳥とニューギニアの鳥**』と組み合わせる事でニューギニアの鳥を満喫できるツアーとすることも出来ます。

今回の皆様のメインガイドである**フィル・グレゴリー**は7年間をニューギニアの地で過ごし、多くのニューギニアの探鳥地を開拓しています。オーストラリア、ケアンズに拠点を移した現在も毎年数回ニューギニアを訪れています。彼はまたニューギニア鳥学会会報誌「**Muruk**」の編集者でもあり、ニューギニアの鳥類に関する著作も多く記しており、現在はニューギニア野鳥図鑑の執筆に取り組んでおります。

行程

1日目-5月8日(土)

集合日。ポートモレスビー空港にてガイドと合流、ホテルにご案内いたします。お客様の到着時間により、ヒシウ(Hisiu)のマングローブ林を訪れます。ここはキンイロモズヒタキ、ニューギニアシロハラモズヒタキ、マングローブオウギビタキ、オウギビタキ、ヒジリショウビンなどをはじめとするマングローブの野鳥が期待できます。

ポートモレスビー泊

2日目-5月9日(日)

早朝からバリラタ国立公園 (Varirata National Park) に向かいます。ほとんどの探鳥はよく整備された林道、または車道を歩いて行きます。ここでのメインターゲットはアカカザリフウチョウです。他にもキバシショウビン、チャガシララケットカワセミ、アカボシヒメアオバト、ワープーアオバト、アカガオインコ、オオハナインコなどを探していきます。

午前中にポートモレスビーに戻り、西部のキウंगा (Kiunga) に飛びます。残りの時間はキウंगा周辺で探鳥します。ヤシオウム、パプアミミジロミツスイ、オウゴンフウチョウモドキ、オオフウチョウ、ナキカラスフウチョウなどが期待できます。 キウंगा泊

3日目-5月10日(月)

早朝からフライ川 (Fly River) のクルーズに参加します。フライ川を遡上し支流のエレバラ川 (Elevala River) でも探鳥します。

穏やかな川のクルーズではシロハラウミワシ、スマトラサギ、クロエリミカドバト、クサビオヒメインコ、イチジクインコ、オニカッコウ、パプアハリオアマツバメ、テリヒラハシ、ヒヨクドリ、ジュウニセンフウチョウ、キムネムクドリ、キガオムクドリなどが期待できます。

クルーズでは途中いくつかの探鳥ポイントに上陸し、ムネアカカンムリバト、ラケットカワセミ、アルーラケットカワセミ、ズグロヤイロチョウ、アカハラヤイロチョウ、パプアチメドリといった熱帯雨林の鳥も探します。

キウング泊

4日目-5月11日(火)

終日キウング周辺でここまで見られていない種を中心に探鳥します。

キウング泊

5日目-5月12日(水)

車でタブビル(Tabubil)に移動します。低地から中高度の熱帯雨林に変わり、鳥相も大きく変わってきます。アラゲインコなどを探しながら移動します。

タブビル泊

6日目-5月13日(木)

タブビル周辺にて探鳥。基本的には平坦な林道での探鳥ですが、ところどころ急な部分もあります。林道脇を流れる小川ではハグロシロヒタキ、サザナミガモ、アラゲインコ、ほとんど生態の知られていないチャイロパプアハナドリ、オオウロコフウチョウ、キンミノフウチョウ、ワキジロカンザシフウチョウなどが期待できます。また、この地域にはオオクロチメドリも生息しています。さらに最近ここでハシブトカワセミのポイントも発見しています。

タブビル泊

7日目-5月14日(金)

早朝、周辺を探鳥した後、飛行機でポートモレスビーに移動します。午後は飛行機の間まで周辺を探鳥して過ごします。夕方飛行機でケアンズに移動。またはそれぞれのフライトでご帰国。

※行程はやむを得ない事情により、予告無く変更になる場合がありますが、訪れる探鳥地・観察種は同様になるように努力いたします。

ツアー2と組み合わせをご希望の方や、別の探鳥地を組み合わせたいという方はお気軽にお問い合わせください。